

鬼北町学校適正規模・適正配置検討委員会（第2回） 概要

日時：令和7年11月19日（水） 18時29分から19時45分まで

場所：中央公民館 3階 大会議室

出席委員：24名、欠席委員：1名

主な意見

- ・それぞれメリット・デメリットはあるが、統合を検討する時期にきていると思う。
- ・以前あったアンケートの結果でよいのではないか。
- ・偉い人たちの意見だけではなくて、保護者の意見をもっと大切にしてもらいたい。
- ・仮に統合が進むのであれば、通学等のデメリットはあるが、一箇所に集中の学校を望む。10年先はわからないが、中途半端に数か所の学校を改修・改築してお金を使うよりも、その分、子どもたちや保護者のサポートができることに使っていただきたい。
- ・学校がなくなると学校がある地域へ親が転居をする可能性が非常に高いということで、ますます学校がなくなった地域においては過疎化が進行して地域が寂れてしまうのではないかというようなことで不安がある。
- ・教育委員会が具体案や方向性を示してほしい。
- ・個別性のある対応が望ましい。
- ・最終的な結果だけの報告はやめていただきたい。
- ・自分の子どもが実際に当事者となってみないと考えにくいところもあると思う。
- ・十分に意見を戦わせずに住民に周知しないまま統合に舵を切ると今後に禍根を残すことになるのではないか。
- ・小学校に関しては令和7年度から13年度の生徒数の推移があまり変わらないので、すぐに統合しなくてもいいと思う。
- ・小規模校の良さが失われることが残念である。
- ・制服が変わるのでないか。
- ・地域の方々と交流がなくなるのは寂しくなる。
- ・中学校に関しては生徒数が少ないので統合を検討した方がいいのではないか。
- ・通学の安全性と負担軽減
- ・通学面もしっかり示してもらいたい。
- ・統合した場合、登下校に不安がある。

- ・統合の反対意見は特にありません。
- ・統合後の教育の質の保障
- ・判断の根拠となる情報の開示
- ・部活動の選択の幅が増えて生徒により効果が期待できる。
- ・本当に子どもたちにとってどういったところがいいのか分からぬ。
- ・目が行き届かなくなるのではないか。
- ・いろんなことをするにしても、比べる対象が少ないので、競争意識がない。
今後社会に出た上で競争になってきた時に、そういうことではいけないのではないか。
- ・この問題は5年先ぐらいの目先のことを考えるのではなく、20年先、30年先を見据えて検討しなければならないと思う。また、地域の方もいろいろな協力をしていただいて、地域一丸で各種イベントを盛り上げてもらっている。
- ・鬼北町全体のことを考慮すべきであり、統合は避けられないと考える。
- ・現在のメリットとして、児童が少ないので、勉強を丁寧に教えていただく
地区としては、差し迫った問題としての捉え方がなかったということで、ほとんど
が現状のままでよいとか、少子化が進んできた場合においては、統合を検討した方
がよいのではないかという意見であった。
- ・統合するにあたり、通学距離がかなり長くなる可能性がある。朝にかなり早く起き
なければならないのではないか。
- ・保育所が統合したこと、保育所は近永に行って、そこでは友達がたくさんできた
けど、小学校では友達がいなくなる。

学校長ヒアリングまとめ

学校としては、どのような状況になっても与えられた役割を果たし、学校の実態に応じて子どもたちのために最善を尽くすことが重要であると考えている。今後もそれぞれの教職員が自分の立場でできることを着実に実践し、学校としての力を発揮していきたいと思っている。

また、もし学校が再編された場合は、児童生徒の通学距離や通学時間が長くなること、また、子ども教室や児童クラブの在り方、さらにスポーツ少年団等の習い事に関する送迎についても検討をお願いしたい。